

(Japanese Academy of Learning Disabilities)



日本LD学会会報 第60号

事務局：〒320-0851 宇都宮市鶴田町687-9 ムギシヨウビル3F TEL. 028-649-0090 FAX. 649-3318
 URL. <http://www.soc.nii.ac.jp/jald/>



特別支援教育士に期待されるもの 〔S.E.N.S〕

特別支援教育士資格認定協会会長

竹田 契一

4月から特別支援教育が始まります。いよいよ始まるという感じで気持ちが引き締まります。全国34000校ある公立の小・中学校では、特別支援教育コーディネーターの活動が本格的に始動します。すでに特別支援教育体制推進事業として、3年前から取り組みを開始している地域もあるので、当初は普及には地域によって温度差が出ると思います。

さて、2001年度からLD教育士の養成セミナーが関東、関西で開始され、2002年度にはLD教育士の資格を認定するためのプログラムが出来上がりました。当初LD教育への対応を中心に考えていましたが、学校現場にはLDの周辺にADHDなどが多く存在することから、2004年度から特別支援教育士資格認定協会を立ち上げ、日本LD学会との両輪で特別支援教育士(LD・ADHD等)と名称変更し、指導者養成プログラムとその資格認定を開始しました。特別支援教育士の英語名のS.E.N.Sは、内輪では、センスが良いとひっかけ「(教育的)センスの良い人のための資格」と呼んでいます。実際に、S.E.N.S資格取得者は、特別支援教育に対する熱意と支援方法の両方を持つ教師集団です。日本LD学会の会員が5000人を超え、関連領域のトップに躍り出ましたが、その背景にこのS.E.N.Sの資格のメリットが浸透してきたのではと考えています。既にS.E.N.S取得者は1203名、SVは211名ですが、現時点で養成セミナーの36ポイント修了者で資格申請者が数百名でいますので、4月には新たに300~400名増える予定

です。

S.E.N.Sの資格は、特別支援教育コーディネーターの基本的資質を保障する資格モデルとしても大いに期待されており、文科省が提唱するPDCA(Plan-Do-Check-Action)システムの特に「Plan」に深く関係するIEP作成につながる研修が、S.E.N.S養成セミナーの実習に含まれています。「Do」の支援教育の実践は、今まさに我々に課された課題と責任であり、会報59号で上野会長の巻頭言の「啓発からLD教育の具体的実践の時代へ」が全てを言い表すものです。

さらに、現在、関連する他学会との連携を模索しており、関連する学会員は、日本LD学会に加入しなくても、当協会主催のセミナー受講が可能となる窓口を考えています。幅広くS.E.N.S資格を浸透させることが、特別支援教育推進の後押しになるからです。また特別支援教育士資格認定協会のS.E.N.S支部の立ち上げに伴い、LD教育の啓発事業として広く活動してきた学校教育部会もその役割を終え解散となりました。今まで取組んでこられた関係者の方々のご苦勞を考えると複雑な気持ちですが、これもLD教育発展のためとお考えいただければ幸いです。それに伴い、昨年、栃木県にS.E.N.S支部が正式に発足しました。これからは支部が各地区に発足し、協会規定に従い支部主催の研究会を開催すると、S.E.N.Sの更新ポイントとして認められるようになりました。ぜひ活用し、各地のS.E.N.Sの資質向上に役立ててください。